



ロータリー：
変化をもたらす

Rotary



CHINO



2017~2018年度国際ロータリーテーマ

茅野ロータリークラブ

茅野ロータリークラブ活動指針

「ロータリーの奉仕の進化と深化を楽しもう」

創立1981. 1. 26

2017 - 2018 会長 高見 恭司 幹事 勅使川原 一幸

Vol.23 1729 2018.1.24

高見会長挨拶

皆さん こんにちは
さて、今月は「職業奉仕月間」です。今日は「職業奉仕」についてお話をさせていただきます。

「職業奉仕」という言葉はご多分に漏れずロータリー用語の中でも、使われることの多さでは断トツと言えるのではないのでしょうか

職業奉仕とはロータリーの原点であり看板であると言われてます。しかし「どうも、職業奉仕は良く解らない」と言う声も、よく耳にします。確かに職業といえば、会社の利益を目的に商いをする行為であります。

また、奉仕といえば世の為、人の為に利益を求めない行為であります。この正反対の二つの言葉を合体させて、職業奉仕とロータリーでは言うのですから、解りにくいのも無理はないかもしれません。しかし、ロータリーの先人が、この二つの言葉を合体させたところにロータリーの原点があります。

今、日本のロータリーアンの商売人の基本姿勢は、海外から高い評価を頂いています。その姿勢とは「商売人は、社会に利益をもたらすものであり、私利私欲が強すぎれば、ならない」あくまで「我もよかれ、人もよかれ、我は、人より、ほんのちよつとよかれ」と日本人特有の謙虚の姿勢で商売をしているから、人々が必ず支え繁盛し、さらに奉仕をベースに商売をした結果得られた利益で、奉仕する気持ちを持っているのが日本のロータリーアンだと言われています。

最後に私たち、一人一人が自分の職業を通して「奉仕の心」を開発して、自己研鑽し、職業奉仕の重要性を理解して頂きたいと思えます。

そんなお願いをして会長の挨拶と致します。ご清聴ありがとうございました。

※別紙幹事報告書

岡谷エコーロータリークラブより

IM実行委員長 木林睦巳様、幹事 小野繁男様よりIMのPRがありました。

茅野市長卓話の御礼の品



1月17日茅野市市長卓話・市長室に置いていただいております

ニコニコBOX

人数
24人
金額
43,000円

- ◎高見恭司会長 八十山会長、ようこそお越しくださいませ、ありがとうございます。
- ◎金田照俊会員 今日、71歳の誕生日です。
- ◎面高信平会員 先週、3人目の孫が産まれました。逆子で帝王切開、子供は羊水誤飲でGICV、クベース入りというトラブル続きでしたが、母子ともに退院となりました。さすが東大病院。
- ◎北原重信会員 八十山さん、卓話よろしくお願ひします。忙しすぎるようですが、お身体に気をつけてください。

出席報告

会員数 56名
出席 44名
出席率 79%

卓話

『竹の地下茎のごとく』

2017~2018年度
小松ロータリークラブ会長
八十山 和代 様



私は、小松ロータリークラブの63代目の会長ですが、女性の会長としては2人目です。最初の女性会長は、山代温泉「ゆのくに天祥」の女将さんでした。

当クラブの誇れるところは、国際RCで女性会員の入会が承認されたのが1989年で、その翌年1990年に女性会員が入会したことです。2610地区は、石川県32クラブと富山県32クラブの合計64クラブあり、石川県では金沢RCの次の2番目に古い老舗クラブです。そんな古いクラブに女性会員が1990年に入会したわけです。その人が、山代温泉「ゆのくに天祥」の女将さんの新滝淳子さんでした。私はその方の推薦で2001年に入会しました。また、あのアパホテルの元谷美子さんも会員で、女性会員が多いクラブです。女性会員は、現在8名です。会員は多いときは90名いましたが、54名まで減ってしまいました。私は、「認め合おう!心ひとつに」をテーマに掲げて、会員増強に力を入れてきました。昨年7月1日から12月までの間に4名増強できました。現在58名になりました。57歳の会長は、石川県で一番最年少の女性会長ですので、自分にできる改革をしようかと思って頑張っています。

私は「竹」ばかり描いている画家です。「八十山(やそやま)」は本名で、石川県に6軒しかありません。21歳で京都に行き、絵を売り歩くところから始めました。21歳から50歳までの30年間は京都でした。19歳から親から一切援助受けていません。21歳から今日まで絵だけでゴハン食べています。「自分のことは自分でやりなさい」という親の教育のもとで育ちました。

絵の訪問販売は、全く売れず、当時パブルの手前だったので高いもの有名なものしか売れない京都でした。「買ってほしいけどあなたの絵高くなるんかいな」、「あなた将来有名な画家になるんでっか」、そして極めつけは「あなた京都のにんげんじゃねえな」と言われて、「よし、絶対京都でのし上がってやるぞ」と心に誓ったものでした。そして、2足のワラジを履かず、絵描きになるために京都に来たんやとひたすらピンポンピンポンと訪問販売を続けました。そんな時、清水薬品の専務が「あなたええ眠してるな」「なんぼや」と絵を買って下さいました。そのお金を握ったとき、「私プロや!」と。この実感は今でも忘れません。

京都に来て2年目、運命的な出会いがありました。洛西の竹林に行った時、衝撃が走り、孟宗竹を見て、「わたしーッ」と思いました。孟宗竹って太くて遅くして天に向かって真っ直ぐに伸びてますよね。そして地下茎は土の中にびっしりはびこってコンクリートさえも割って出てきてしまう程の生命力。それを見たとき、どんな時でも凛としているその竹の外見が自分とびたっと一致して見えたんです。竹の外見に自分の外見、竹の根っこに自分の精神を感じました。それからずっと竹を描き始めたのです。今年で35年目、いつの間にか「竹画家さん」と呼ばれるようになってます。

ROTARY CLUB OF CHINO WEEKLY

卓話

29歳のとき、大丸京都店の個展の成功を皮切りに心齋橋店も成功し、高卒でもここまで出来るんだゾと思いました。20代に人生の目標をたてました、「絶対この京都でのし上がったるわい」と。20代は「がむしゃらに動こう」、30代は「食欲にやろう」、40代は「応用編」、50代で「結果出せ」と。30歳から50歳までの20年間で日本人の画家がやったことの無い美術館で何回個展ができるか、やってみよう。そして、まず1991年「ニューヨークソーホ」で海外初個展を開催できました。1992年は、名門「ザ・アート・ディレクターズクラブ」で画家の母への感謝の気持ちを込めて母娘個展を開催しました。

竹の種類は、世界に600種類あります。日本には200種類、中国には550種類。よし、中国だということで1994年に中国に行きました。まず信頼できる友達を作らなければなりません。私の頭には組み立てがあります。魚の頭とシッポ、骨組み。「中国で個展をするんや!」と。まず最初人脈を作ります。次は美術館の場所を決めます。次は飛行機会社と交渉します。そしてオープニングパーティーの会場を決めます。新聞記者との記者会見。ニューヨークで経験してそれを応用しましたが中国でも通用しました。1995年「平成女遣唐使 八十山和代竹取物語 中国巡回展」と銘うって、上海美術館・四川省美術館・西安美術大学美術展ホールで開催し大成功でした。

1996年に生まれ故郷のブラジルに入り、サンパウロ、リオ、ブラジリアでブラジル国立歴史博物館をメインにして母娘巡回展を開催しました。

2002年に「日中国交正常化30周年」で、中国の本丸の北京で中国革命博物館と南京博物院で個展を開催しました。中国革命博物館では日本人第1号でした。

2008年に「日本ブラジル100周年事業」で国家公認記念事業として個展を開催しました。

それで、31歳から48歳の17年間で合計6回の海外美術館個展をやってしまいました。

60歳で美術館を作ろうと決めていたら、なんと51歳で出来てしまいました。そこにはいろんな人との出会いがあり、人は財産だなあと人との出会いを大事に受け止めていこうと。自分の信念をしっかりと持ってるとほんとにいい関係で付き合えるわけです。

長野県は日本の真ん中でロータリアンと一緒に日本を引っ張って行けたらいいなと思っています。ご清聴ありがとうございました。

パナーの交換

